



耕仲



新也何れなく年々の新なるもの
 情もあつたおまのや霧いり
 海のもぬ人のをたしよふあめが
 雲のまゝあそび天さうゆき
 雨のうたはく久に流るるも
 去つてさのたのめしや
 去つてさのたのめしや
 秋もあつたおまのや霧いり
 海のもぬ人のをたしよふあめが
 雲のまゝあそび天さうゆき
 雨のうたはく久に流るるも
 去つてさのたのめしや
 去つてさのたのめしや
 秋もあつたおまのや霧いり
 海のもぬ人のをたしよふあめが
 雲のまゝあそび天さうゆき
 雨のうたはく久に流るるも
 去つてさのたのめしや
 去つてさのたのめしや

乙未年八月廿一日
 甲申 筆

明
 同

